

武漢事務所便り週間新聞記事報告 2011.02.09-2011.02.13 35号

武漢晩報より 2011年2月10日付き

春節休暇7日間 武漢市は観光客221万人を迎え、旅行収入7.8億元(約101.53億円、1元=13円で計算)

武漢市休暇日管理弁公室のデータによると、春節休暇7日間、武漢市の主な観光地は221.18万人(前年比21.59%増)の観光客を迎え、実際の旅行収入は7.81億元(約101.53億円)に達した(前年比22.74%増)。

春節休暇中、高速鉄道を利用して武漢を訪れる観光客が多く、大手旅行社が高速鉄道旅行団1万人以上の観光客を迎えた。

武漢市観光案内センター天河空港国際ターミナルの案内所が春節に合わせて正式にオープンし、武昌駅、武漢駅、天河空港国内ターミナルの観光案内所を含め、武漢市の観光案内所は4つになった。武漢市旅遊局旅行社管理处の統計により、4つの観光案内所は春節休暇期間中、観光客2000人の問い合わせを受けた。そのうち、200人の観光客が案内所の紹介により、「武漢一日旅行」に参加した。

2月9日昼、記者は武昌駅地下出口にある観光案内所で、数名の観光客が武漢市観光案内宣伝パンフレットを求める光景を見た。正月2日目から毎日5、6家族が案内所に武漢市の美食、観光地について相談に来た。この案内所は観光情報を提供する他にも、ホテルの予約、レンタカーサービスも提供している。

市休暇日管理弁公室センターは春節期間中、武漢市一日旅行の観光客に対する調査を行い、武漢市観光総合満足率が94.79%に達したことが明らかになった。

湖北省民は春節の期間中、クレジットカードで28億元(約364億円、1元=13円で計算)を消費

今まで人々が買い物する際、今までは現金で支払うのが普通だったが、現在カードで支払うのが盛んになっている。銀聯湖北省会社からの情報によると、今年(ウサギ年)の春節期間中、湖北省ではバンクカードの取引が急速に増加し、カード利用には新たな動向が現れ、ますます多くの人々がクレジットカードを利用するようになった。

湖北省銀聯会社の紹介によると、2011年の春節、湖北地域において、取引成功回数は300.75万回、金額は28.9億元となり、昨年同期と比べ、1日当たりの取引状況はそれぞれ回数が38.17%、金額は36.55%増加した。

バンクカードによるATMの取引回数は113.48万回、取引金額は14.37億元であり、1日あたりの取引状況はそれぞれ去年と比べ、前者が36.66%、後者が34.93%増加した。バンクカードによるPOSの取引回数は187.27万回で、取引金額は14.53億元、それぞれ去年と比べ前者が16.97%、後者が34.29%増加した。

バンクカードの中で、クレジットカード機能は休日消費の重要な選択肢となっている。データによると、7日間の春節休暇期間中、湖北地域のクレジットカード取引金額は5.5億元に達し、同期と比べ、28%増加し、春節時期のバンクカードによるPOSの取引総額の38%を占めている。

湖北銀聯は「クレジットカードの大量使用により、個人消費財産に多くの便宜と実益をもたらし、内需消費の拡大、経済発展に大きな役割を果たしている」と述べた。